

御嶽山国定公園保護・利用推進宣言

御嶽山国定公園は、木曽山地の中核をなす御嶽山を中心に、長野県及び岐阜県にまたがる山岳地域一帯からなります。主峰である御嶽山・剣ヶ峰をはじめ、摩利支天山、継子岳などの火山群、そしてその周囲に広がる高原、溪谷、森林地帯によって、雄大で変化に富んだ自然景観が形成されています。御嶽山は、日本有数の成層火山として知られ、溶岩流や火山砕屑物によって形づくられた台地状地形や火口地形など、火山活動に由来する多様で特徴的な景観を今に伝えています。また、木曽川をはじめとする河川の源流域には、清冽な水流による溪谷や滝が広がり、豊かな水辺景観が育まれています。亜高山帯から高山帯にかけては、コマクサなどの高山植物を含む多様な植物群落や希少な動植物が見られるなど、生態系の価値も高く評価されています。

御嶽山は、こうした自然環境に恵まれ、古くから信仰の山として人々の祈りとともにあり、地域の歴史・文化と深く結びついてきました。

火山活動に由来する独自性の高い自然景観、多様な生態系、そして信仰と暮らしが重なり合う歴史的・文化的価値が認められ、御嶽山周辺地域は、令和8年4月10日、国定公園として指定されました。御嶽山国定公園の指定は、御嶽山の価値が全国的に認められたものであると同時に、活火山と向き合い、その特性を正しく理解し、防災・減災に努めながら共生していくという責任を、私たちに託されたものでもあります。

私たちは、御嶽山の魅力と重要性を広く発信するとともに、この場所に育まれてきた自然、歴史、文化を大切に守り、次世代へ確実に引き継ぐことをここに宣言します。

令和8年7月4日

御嶽山国定公園指定記念事業長野県実行委員会



御嶽山国定公園
Ontakesan Quasi-National Park